

旧鹿角郡公会堂

大正5年(1916)9月に天皇御大礼記念として秋田県(鹿角郡)により建築されました。建物は、木造平屋で、下見板張りの壁や上げ下げ窓、玄関柱頭に施した植物の木彫模様など洋風な造りで地域における文化活動の中心施設として様々な行事や催し物の会場に使用されました。

変遷

大正 5年 9月23日	天皇即位の大礼奉祝記念として落成
大正14年11月19日	秋田県立図書館花輪分館が移転
昭和12年10月21日	東北六県蚕種業者大会会場
昭和57年	民俗資料室開設
平成 3年 3月26日	鹿角市有形文化財指定
平成28年度	全面改修工事
平成29年11月 3日	リニューアルオープン



建築当時のホール

ご利用案内

入館料 無料

※ただし、特別展示室有料の場合あり。

開館時間 9:00～17:00

休館日 月曜日・年末年始

(12月29日～1月3日)

※ただし、月曜日が祝日の場合は、翌日以降の平日。その他、臨時休館の場合あり。

駐車場 約10台

アクセス

JR鹿角花輪駅より徒歩で約7分
東北自動車道 鹿角八幡平ICより車で約5分

特別展示室はどなたでもご利用できます。
鹿角市歴史民俗資料館にて利用を受け付けていますので、お問い合わせください。

ご案内図



〒018-5201

秋田県鹿角市花輪字中花輪113番地

TEL & FAX 0186-22-7288



鹿角市 歴史民俗資料館

(鹿角市指定文化財 旧鹿角郡公会堂)

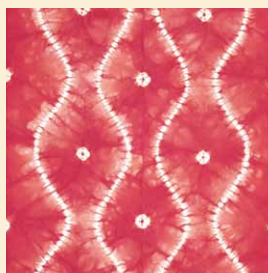
民俗資料

民俗資料は、昭和44年旧花輪町で開催された秋田県種苗交換会の協賛行事「明治100年記念民俗資料展」を行うにあたって、町民から寄せられた資料の収集に始まり、その後昭和57年より常設展示を行ってきました。

現在約2,000点の資料を収蔵し、その一部を「鉱山を支えた商業の町 花輪」として常設展示をしています。

紫根染・染

藩政期、紫根染は盛岡藩の特産品で鹿角地域で染められました。花輪地区で営業した栗山家で使用した染色の道具などがあります。



茜染



紫根染

酒 造

藩政期、鹿角地域で生産される酒は少量ながらも藩内で評価され、親しまれていました。花輪地区で営業した酒造店が使用した資料を中心に酒の醸造から販売までの資料を展示します。



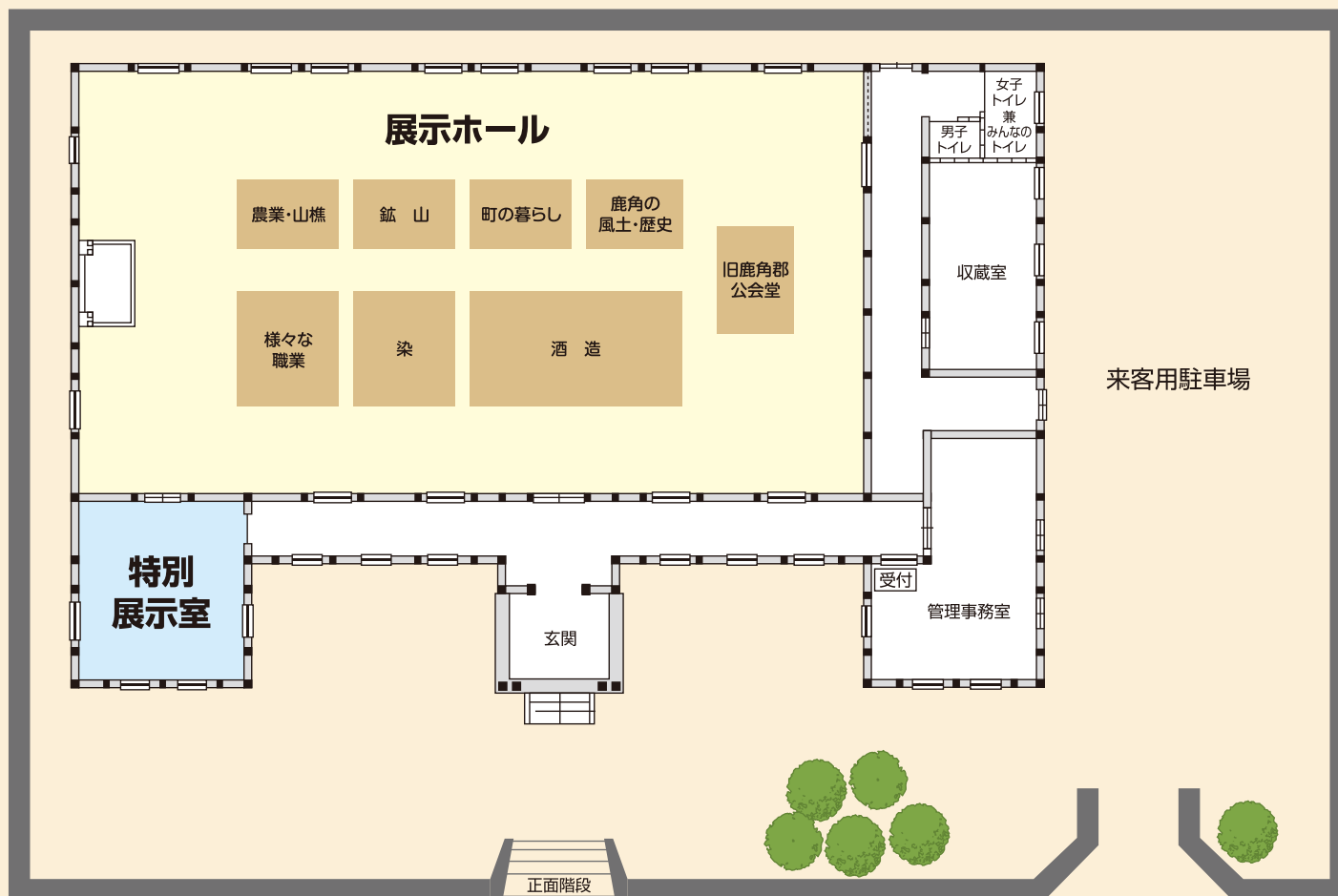
酒屋の看板

鉱 山

花輪地区に隣接する尾去沢の鉱山から産出される銅は藩政期には長崎貿易に使用されました。鉱山で働く人々は花輪で日用品を購入しました。



(鹿角市鉱山歴史館蔵「尾去沢鉱山作業之図」より)



上げ下げ窓



玄関柱頭の植物模様

